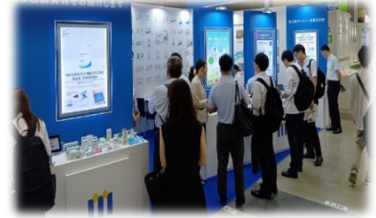


2025 年度 CSR 活動報告

1. お取引先の皆様へ

・ 2025 インターフェックスジャパン（会場：東京ビックサイト）に出展しました。7 月 9 日～11 日の 3 日間で、弊社ブースの来場者数は昨年を若干下回る 485 名でした。今回初めて WEB アンケートを実施しお客様の生の声を収集することができました。



・ 2025 年 6 月 23 日、EcoVadis 社によるサステナビリティ評価の継続審査を受けコミットメント・バッジを取得することができました。スコアは 56 点で前回より 5 点上昇しましたが、上位 35%に入れずブロンズメダルを逃しました。サステナビリティ評価への関心の高まりと普及によりこれまで以上の取り組みが必要と認識させられました。

・ 上記の取り組みの一環として 2026 年 4 月を目途に SBT（Science Based Targets、パリ協定が求める水準と整合した、企業が設定する温室効果ガス排出削減目標）の認定を取得する予定です。

お客様のサプライヤーアンケート等において温室効果ガス排出量の削減目標について求められる機会も増え、更には ESG 監査（環境（Environmental）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）に関する非財務情報の正確性や妥当性を第三者が検証・評価するプロセス）が行われるなど、これまでの企業活動に加えて、社会的責任を果たすという使命がより強く求められるようになりました。

2. 健全な職場環境づくり

・ 2025 年 1 月 20 日～1 月 31 日の期間で全従業員を対象にした CSR 行動基準に基づく実態調査を行いました。1 年間のハラスメント研修を続けてきた結果、「ハラスメントやいじめがなかった」とした回答が、昨年度の 55%から 72%に、「ワークライフバランスが取れている」とした回答が、昨年度の 57%から 74%に改善しました。一方で、「上司が部下に対しハラスメントがこわくて指導できない」という問題も生じ、社員教育の難しさを感じました。他に場内労働環境の改善を求める声もあり、優先度の高い事案から順次対応してまいります。

新たな取り組みとして、若い管理職が主体性を持って会社の課題に向き合うことを期待し、社内研修の母体であった会議の在り方について再考しました。具体的には受け身の研修から各部の課題を話し合う場に、議長や出席者も議題に応じて交代していくなど自由度の高い会議としております。

3. 法令遵守に基づく企業活動

・ 労働法令、国税徴収法その他諸法令に関して調査、是正勧告などはありませんでした。

4. 企業活動の透明性の確保

・ 2025 年 9 月 20 日に無事決算を迎え、期限までに申告、納税を済ませております。同年 12 月 5 日に第 80 期定時株主総会を開き、株主に対して決算報告を行います。なお、金融機関など取

引先の要請に応じて計算書類を適正に開示しております。

5. 人権の尊重とプライバシーの保護

・上記 2.（健全な職場環境づくり）で記載しました CSR 行動基準に基づく実態調査において、「差別や人権被害」、「文化や習慣の否定」という項目でいずれもそういった事実はないとする回答が 90%を超えております。

6. 地球と地域の環境保全に向けて

・2025 年 2 月に本社の水道のノズルヘッドを節水（バブル）仕様に変更しました。メーカーによりますと節水率は、洗浄力を落とさず 50～60%とありますが、水道料金の節約に加えて SDGs に対する従業員の意識高揚を図ることが目的です。

『社内取付例』



『メーカーホームページより抜粋（注）』



（注）メーカーの了承を得て掲載しております。

・2025 年 2 月に「ちば SDGs パートナー」の更新手続きが完了しました。SDGs への取組みも 2 期目に入り、目標に向かってより具体的な取組みが必要とされます。社内調査において SDGs への理解・関心度はそれほど高くなく、企業の果たすべき社会的責任と併せて教育、研修の機会を設けてまいります。



『千葉テレビで放送された協賛 CM』

・地域への貢献活動の一環として、第 107 回全国高校野球選手権千葉大会と第 47 回千葉市民花火大会へ企業として協賛を行いました。特に花火大会は、多くの社員とその家族も楽しむことができ、社員の福利厚生を兼ねたイベントとなりました。今後も地域貢献を通して当社を広く知ってもらおう活動を続けてまいります。

以上

丸 金 印 刷 株 式 会 社
代表取締役社長 勝沼 令子